

事例4

< 事例概要 >

- ① 70 歳代、胆管癌術後、門脈血栓症に対しワルファリン内服中の外来患者。
- ② PT-INR の定期採血。
- ③ 医師は、診察日ではない画像検査日に血液検査をオーダーし、次の外来受診日に検査結果を説明する予定にした。検査結果は、PT-INR 7.71 であった。臨床検査技師は、医師に「PT が異常値です。異常値なので電子カルテで確認してください」と電話で報告した。医師はパニック値の報告を受けた記憶がなかった。患者は、次の外来日前夜に会話が不能となり救急搬送された。
- ④ 病院到着約7 時間半後（パニック値検出より1 週間後）に死亡。
- ⑤ 死因は、視床出血からの閉塞性水頭症による脳幹損傷。死亡時画像診断（Ai）無、解剖無。